

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

門川町まち・ひと・しごと創生推進計画

2 地域再生計画の作成主体の名称

宮崎県東臼杵郡門川町

3 地域再生計画の区域

宮崎県東臼杵郡門川町の全域

4 地域再生計画の目標

本町の1980年以降の総人口をみると、1980年の18,533人から2000年には19,287人と754人増加し、その後2005年に減少に転じ、2015年の総人口は18,183人となっています。住民基本台帳によると2020年には17,854人となっています。また、国立社会保障・人口問題研究所による推計では2030年には15,924人になると見込まれています。

年齢3区分別人口の推移をみると、生産年齢人口は、1995年の12,216人をピークに減少傾向にあり、2015年には10,087人となっています。年少人口（0～14歳）は、1980年の4,656人から減少傾向で推移し、2015年には2,586人となっています。一方、老年人口（65歳以上）は、1980年の2,012人から増加傾向で推移し、2000年には年少人口を上回り、2015年には5,503人となっています。

さらに、本町の自然動態（出生数・死亡数）の推移をみると、2002年までは出生数が死亡数を上回る自然増の傾向にありましたが、2003年以降は、死亡数が出生数を超える自然減が続いており、2018年には126人の自然減となっています。合計特殊出生率は2018年において1.78で、国や県平均を上回っていますが、人口置換水準とされている2.07よりは低い状況です。社会動態（転入数・転出数）は、1994年以降、社会増・社会減を繰り返しながら推移していたものの、2010年以降は、転出数が転入数を上回っている社会減の状況にあります。2018年には68人の社会減となっています。

このような、本格的な少子高齢化や人口減少社会の到来により、地域の担い手の減少や地域コミュニティの衰退といった課題が生じる恐れがあります。さらに情報化の進展、環境問題の深刻化、地方分権化など、本町を取り巻く社会環境は大きく変化しています。

これらの社会環境の変化に的確に対応しながら、「日本一住みよい門川町」の実現を目指すために、次の事項を基本目標として掲げます。

- ・基本目標 1 門川町の次代を担う人材を育成する
- ・基本目標 2 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みをつくる
- ・基本目標 3 門川町への新しい人の流れをつくる
- ・基本目標 4 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる
- ・基本目標 5 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちをつくる

【数値目標】

5-2の ①に掲げ る事業	K P I	現状値 (計画開始時点)	目標値 (2024年度)	達成に寄与する 地方版総合戦略 の基本目標
ア	門川町に愛着があるとする 割合	74.6%	80.0%	基本目標 1
イ	繁盛店支援	11店	44店	基本目標 2
ウ	県指標による移住者数	0人	5人	基本目標 3
エ	合計特殊出生率	1.78	1.80%	基本目標 4
オ	自主防災組織	32地区	34地区	基本目標 5

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

5-2のとおり。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

- まち・ひと・しごと創生寄附活用事業に関連する寄附を行った法人に対する
特例（内閣府）：【A2007】

① 事業の名称

門川町まち・ひと・しごと創生推進計画事業

ア 門川町の次代を担う人材育成事業

イ 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みづくり事業

ウ 門川町への新しいひとの流れづくり事業

エ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

オ 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちづくり事業

② 事業の内容

ア 門川町の次代を担う人材育成事業

地元活動に積極的に参加し、地域活性化に取り組む人の発掘・支援やふるさと教育・キャリア教育等による優れた人材の育成、町外出身者の活用や講師派遣等による地域の自主的な活動を支援する事業。

【具体的な事業】

- ・門川教育プロジェクト
- ・地域おこし協力隊プロジェクト 等

イ 門川町でしごとをつくり、安心して働ける仕組みづくり事業

新たな雇用環境の創出に向け、企業誘致や販路拡大等の支援を行い、また、特産品のブランド化により、地域経済の活性化を図ります。

【具体的な事業】

- ・地場産業支援プロジェクト
- ・門川ブランドプロジェクト 等

ウ 門川町への新しいひとの流れづくり事業

自然環境やスポーツを活用した移住・定住促進や地域観光資源のブラッシュアップ等を行いながら、交流人口の増加を目指します。

【具体的な事業】

- ・移住・定住促進プロジェクト
- ・滞在型観光プロジェクト 等

エ 若い世代の結婚・出産・子育ての希望をかなえる事業

若者世代の経済的安定のための雇用対策や子育て世代の経済的負担軽減対策に取り組めます。

【具体的な事業】

- ・子育て世代応援プロジェクト
- ・サービス充実プロジェクト 等

オ 時代に合った地域をつくり、安心して暮らせるまちづくり事業
安全で安心して暮らせるための環境整備やともに支えあうまちづくりを
目指します。

【具体的な事業】

- ・安心・安全プロジェクト
- ・公共交通維持プロジェクト 等

※なお、詳細は第6次門川町長期総合計画（第2期門川町総合戦略）のと
おり。

③ 事業の実施状況に関する客観的な指標（重要業績評価指標（KPI））

4の【数値目標】に同じ。

④ 寄附の金額の目安

400,000千円（2021年度～2024年度累計）

⑤ 事業の評価の方法（PDCAサイクル）

毎年度8月に産官学金労言住の各分野の代表者で構成する「門川町まち・
ひと・しごと創生推進会議」において効果検証を行い、議会への報告を経て、
検証内容を門川町のホームページで公表する。

⑥ 事業実施期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで

6 計画期間

地域再生計画の認定の日から2025年3月31日まで